

# 県会議員 山口のりひさの活動だより

11月定例県議会（11月28日～12月13日）の質疑など、この間の活動を報告します



## 「ウェルビーイング実践校TOCO-TON(トコトン)」って何？

県教育委員会は、すべての子どもが、「好き」や「楽しい」、「なぜ」をとことん追求することを目的とし、自ら学び方を選択でき、自己実現できる学校「ウェルビーイング実践校 TOCO-TON」の指定先（12市町村教育委員会 70校）を決定しました。

**Q** 市内全域で「小中一貫教育」をめざす教育委員会もある。すでに地元ではとまどいの声も出ている。子どもや保護者、地域の意見は反映されているか。

**A** 計画発表から3、4ヶ月。募集から認証まで1ヶ月程度だった。来年度、一年かけて準備していく。

**Q** 子どもの自己決定でルールや行事を見直すとして、制服や運動着、化粧やピアス、染髪などの縛りのない学校をめざすところもある。どのような問題意識か。

**A** 子どもの自由と、先生たちのゆとりが必要だ。子どもたちをそろえることは大きなエネルギーが必要だ。

**Q** 教育課程や授業時数の変更など、学校のあり方や学習が大きく変わるようになり、子どもや教師の負担が大きくなるか。

**A** 子どもの時にしか経験できないことを存分に体験し楽しめる。先生は、成果、結果に縛られる負担感を無くし、新しいチャレンジができる。

※多くの方々にまだ知らされていません。子どもや保護者、地域に情報が提供されること、丁寧な説明と意見が尊重されることを求めています。

## PFAS汚染対策——国まかせでなく

発がん性など健康被害が懸念される有機フッ素化合物（PFAS）に対して不安が広がる中、国が全国調査を行い結果が公表されました。県内では長野市など7事業の水道で検出されています。

**Q** 調査は全市町村の水道が対象か？

**A** 任意の調査である。

**Q** 調査方法は？

**A** 給水栓で水を採取し、登録検査機関に委託している。

**Q** 全市町村で定期的な水質検査と結果の公表が望まれるが、県の役割は？

**A** 国がPFASの検査・報告などの義務化を検討しているが、県は、現段階で各自治体に検査と定期的な報告をすすめている。

※日本は欧米に比べて規制や対策が大きく立ち遅れています。国まかせではなく、県の積極的な取り組みや体制強化を引き続き求めていきます。

## 長野県立大学生と懇談

毎年行っている県立大生と県会議員の懇談会に今年も参加しました。

なぜ県立大をえらんだか、県立大の魅力、授業の改善の要望、学費の軽減、卒業後の社会生活への不安…。みなさん自分の言葉ではっきりと主張されるのが印象的でした。懇談の内容は、県政に生かしていきます。（12月18日）



議会運営委員会（11月21日）

## リニア工事で新たな環境破壊の不安

JR東海がリニア中央新幹線の飯田市の橋脚工事に、基準値を超える重金属を含む要対策土を使う計画が問題になっています。

地元・飯田市の「リニアから自然と生活環境を守る沿線住民の会」が12月16日、阿部知事宛てに要対策土を使用しないようJRに求める要望書を提出し、同席しました。

県リニア推進局は、住民の不安を払拭するようJRに求め、JRと一緒に現地を視察し、公開で住民との対話の場を設けるよう検討するとこたえました。

地元の方々の熱心な取り組みが、県を動かしています。

